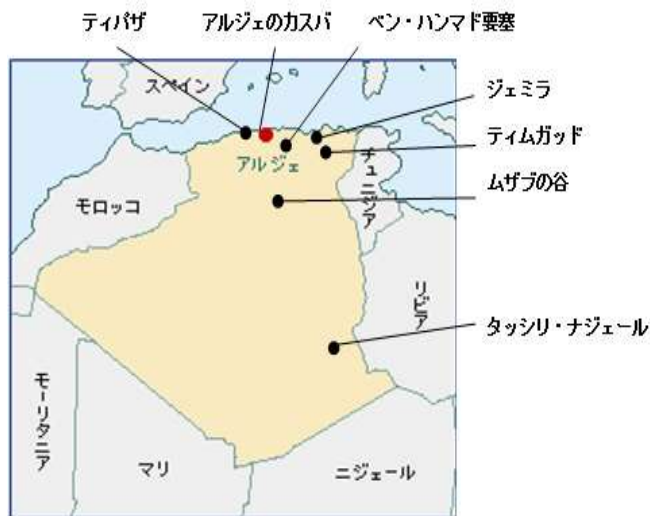


## アルジェリアの旅への誘い



アルジェリアはアフリカ大陸最大、世界でも 10 位の面積を持つ広大な国です。北アフリカのマグリブに位置し、北は地中海に接し南には広大なサハラ砂漠が広がります。長い歴史と豊かな自然に恵まれ、ぜひとも訪問したい国の一つです。まず遺跡では、地中海沿いのカルタゴの交易の拠点だったティパサ

遺跡や、地中海からやや内陸に入ったローマ時代のティムガッド遺跡やジェミラ遺跡は保存状態が素晴らしく、ともに世界遺産に指定されています。

イスラム時代の遺跡ではサハラ交易のためのベニ・ハマッドの要塞やオアシスの都市ガルダイア近郊の5つの要塞都市が見所で、その都市構想、地下灌漑水路、都市を守る城壁など今に通じる見事な建築技術を残しています。

また世界遺産に指定されている首都アルジェのカスバやサハラ砂漠に広がる雄大な砂丘群も見逃せません。

このようにどれをとっても一級品の見どころにあふれていますが、アルジェリアはモロッコやチュニジアに比べると観光インフラに乏しく、個人旅行は認められないなど、行きにくい国の一つです。

また 2013 年に南部の天然ガスプラントで日本人 10 名を含む 48 名が死亡したテ



ティパサ遺跡

口事件が発生したことは記憶に残っていると思います。外務省は一度設定した危険情報をなかなか変更しませんが、アルジェリアにはチュニジア、イラン、コーカサス 3 国などと同様、国土の大部分に「レベル1:十分注意してください」が設定されています。また、今



ガルダイア

回の旅の前半に訪れるバトナ地方のティムガット遺跡周辺は「レベル2:不要不急の渡航を止めてください」が設定されています。

今回の旅は「Fancyellow Travel Services」というアルジェリアで信頼のおけるツアーオペレータによる旅で、国家資格を有するガイドが同行し、安全に十分配慮した企画になっていますが、「自己責任で行く」地域であることを承知してください。

また沙漠の旅は、ホテルなど観光インフラが乏しく、観光客が安心して泊まれる宿は国営のホテルや自称四つ星のホテルしかありません。したがって旅行費用が高額になりがちですが、現地旅行会社とぎりぎりの交渉を続け、ようやく納得できる価格に抑えること



ティムムーン

ができました。従って参加者は最低 8 人いないと費用の面で実施しにくいし、また車の関係で最大参加人数も 11 人とします。

まだ半年も先の計画ですが、ビザ取得に時間がかかることや、数少ないホテルなどを押さえるために、参加を希望なさる方は早めにご意向をお知らせください。

令和 6 年 4 月 1 日

fujizakura